

平成26年度 大館市立花岡中学校 学校評価書(前期 年度)

A 学校教育目標

郷土に誇りを持ち、主体的・創造的に生きようとする生徒の育成

めざす生徒像 (校訓)

- (1) 感謝と思いやりの心を持ち、進んで人の役に立とうとする生徒 (誠実)
- (2) 正しい判断力を持ち、健康で明るい生活のできる生徒 (自律)
- (3) 夢と志に向かい、自ら学び、自ら考え、自らを高める努力ができる生徒 (努力)

めざす学校像

- (1) 生徒一人一人が、存在感のもてる学校
- (2) 地域に信頼され、地域と共に歩む学校
- (3) 整然と美しく、潤いのある学校

めざす教師像

- (1) 生徒の心に寄り添い、保護者の思いに心を馳せることができる教師
- (2) 教育に対する情熱を持ち、自らの資質向上に努め、不断に研修を積む教師
- (3) 教育公務員としての自覚を持ち、生徒・家庭や地域から信頼される教師



B 評価

学校運営の状況	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
				4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
				3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
				2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
				1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

生徒の状況	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
				4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
				3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
				2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
				1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織・運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	良好	自主性を育てる教育課程が編成されている。
	年度	良好	ガイドボランティアの取り組みが特に素晴らしく、生徒自身も成長を感じている。
学自 校己 の評 改価 善の 策概 要と	【前期(→年度)】今年度は、3月の閉校に向けて学校一丸となって取り組んでいることがよい方向に向かっている要因となっている。特に「ふるさとキャリア教育」においては、体験活動がさらに充実した。また、生徒の手による記念誌作成(10月完成予定)にも意欲的に取り組んでいる。事務処理に関しては、適正な処理を継続すると共に、複数の目による監査体勢でミスが発生を防止していきたい。		
	【年度(→次年度)】「ふるさとキャリア教育の充実」に関しては、保護者アンケートにおいて前期よりも「そう思う」割合は減ったものの、8割を超える保護者に認めていただいた。また、職員アンケートでは前期を上回る結果(3.3)である。実際、「鳥潟会館ガイドボランティア」の全校での取り組みや、学校祭の演目を地域の産業文化祭で披露するなど、ふるさとキャリア教育は充実していたと考えている。事務処理に関しては、諸帳簿点検においても適正に処理されていると認めていただいたので、年度末まで引き続き適正に処理していきたい。		

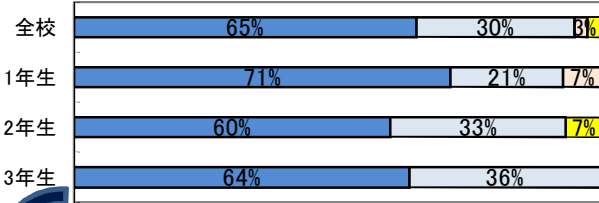
評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 明確な運営・責任体制	(1)学校評価の効果的運用	・重点課題と生徒像の明確化 ・アンケート項目の検討 ・校内評価委員会	3	3
2 教育課程の編成と実施	(2)教育目標実現のための教育活動の充実	・ふるさとキャリア教育の充実 ・体験活動や地域素材を生かした教育活動	4	4
	(3)学習指導要領に沿った教育課程の編成	・適切な時数配分 ・授業時数の確保		
3 効果的な事務運営及び事務処理	(4)各種会計管理の徹底	・学校納金の適正な管理 ・情報漏洩防止の徹底 ・各種会計の執行状況の周知	4	4

(2)に関するデータ 教育活動の充実

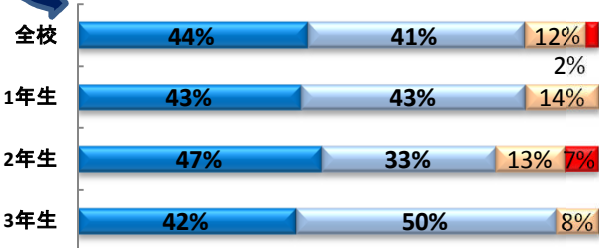
ふるさとキャリア教育の充実(ふるさとと母校への誇りの醸成)

体験活動や地域素材を生かした教育活動

保護者：学校は、地域の人材や施設を活用した活動や、地域に関わる活動に取り組んでいますか。



後期：花岡小唄の指導、鳥潟会館ガイドボランティア、図書館主催エコバック講習会に取り組んでいますか。



いただいたアンケートの記述から

- ・花中の生徒さんの素直さが伝わりました。(県外男性)
- ・子どもたちのわかりやすく一生懸命な説明に感動しました。(県内女性)
- ・自分の言葉で相手に伝わるような説明ができてとてもわかりやすかった。花中生の素晴らしい姿に感動しました。(市内男性)
- ・ガイドを務めた二人の女子生徒は元気がよく、爽やかに館内を案内してくれた。素晴らしいの一言に尽きるものだった。(さきがけ新聞投書より 県外男性)

生徒の感想

- ・修学旅行ではうまくPR活動が出来なかったが、今回は雑談を交えながらできた。人と話すのがこんなに楽しいと思わなかった。(3年女子)

鳥潟会館ガイドボランティア ～人間関係形成能力の育成～

8月：事前学習 ガイドウォークに参加



9月：現地練習



10月：ガイドボランティア



Ⅲ 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら、安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	三校交流会で良い刺激を受けているようなので、統合に向けて頑張ってもらいたい。
	年度	良好	

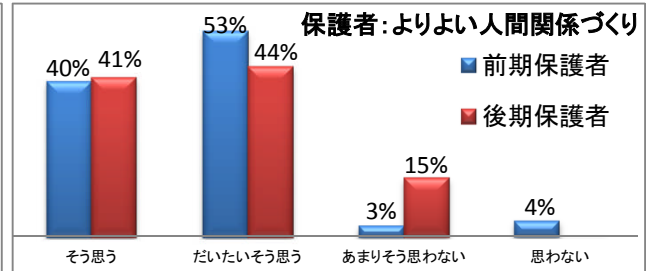
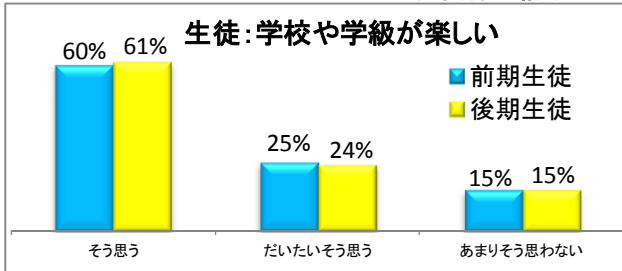
学校の自己評価改善の概要と

【前期(→年度)】お互いに認め合う場面は、学級活動や学校行事を通して多くなってきている。しかし、「切磋琢磨」という面に於いては、三校の交流会で刺激を受けているものの、校内生活ではまだ課題として残る。今後は、生徒自ら企画し活動できる場を工夫し、積極性を育みたい。学校行事への取り組みは、最後の年ということもあり、積極的に達成感も高い。困難を乗り越える力を学校祭でも培い、閉校式へとつなげていきたい。

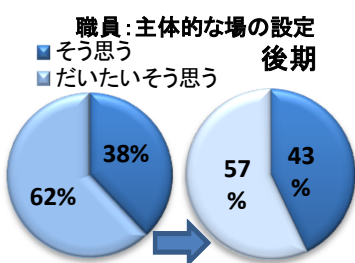
【年度(→次年度)】お互いの良さを認め合う場面が増えてきて、各学級の雰囲気もよくなってきている。行事では、最後の学校祭・球技大会ということもあり、生徒と教師が一体となり取り組み、生徒たちに達成感を味わわせることができた。「切磋琢磨」という面ではまだまだ課題として残るが、前期よりは少し意欲が向上してきている。更に粘り強く指導して、困難を乗り越える力を培い閉校式へとつなげたい。1・2年生については、新しい環境の北陽中学校でも、対応していける力を身に付けさせたい。

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 開かれた心と自立心の発揮	(10)よりよい人間関係を構築する特別活動	・学級活動 ・委員会活動 ・生徒総会 ・短学活の充実	3	4
	(11)生徒が自信をもって、積極的に取り組む活動	・主体的に活動できる場づくり ・学級での意識づけ ・部活動		
7 一人一人の個性の発揮	(12)互いの良さを認め合う学級	・友達の良さを認め合う場の設定 ・学年通信での紹介	4	4
	(13)達成感を味わわせ、行動力を育てる学校行事	・新入生歓迎会 ・運動会 ・学校祭 ・3年生を送る会		

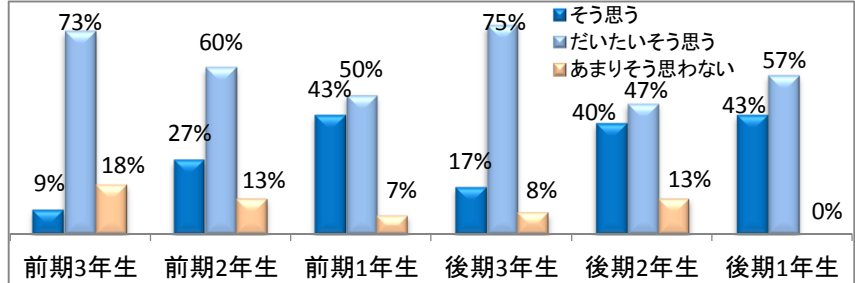
(10)に関するデータ よりよい人間関係の構築



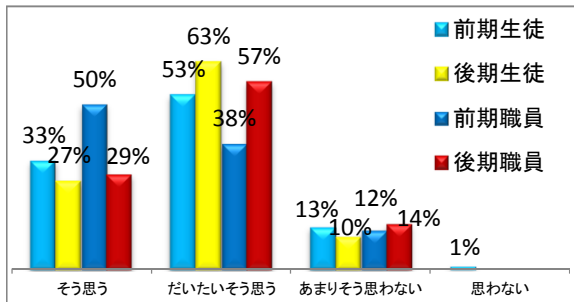
(11)に関するデータ



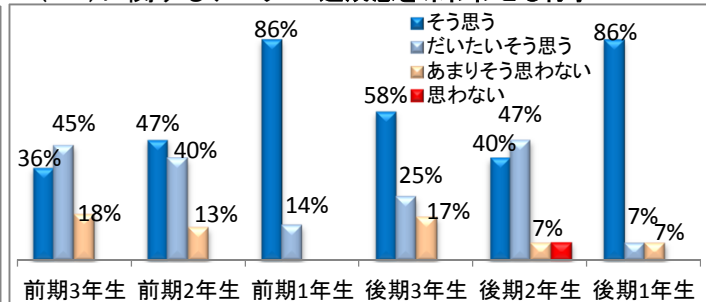
(12)に関するデータ 互いの良さを認め合う学級



思いやりの心の育成



(13)に関するデータ 達成感を味わわせる行事



保護者の感想

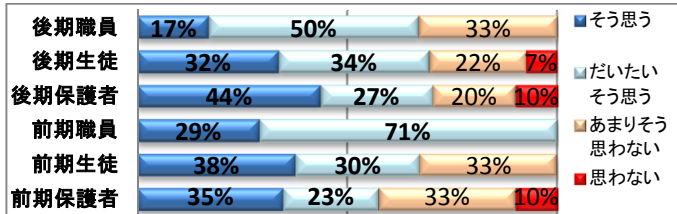
- ・生徒と先生、学校全体が一つになり、素晴らしい学校祭でした。
 - ・全員が主役だったと思います。42名の校歌、素晴らしかったです。
 - ・学年を越えて一つの作品を創りあげているという点は、花中ならではの事だと思います。生徒全員で花中祭を盛りあげようとしている姿に、とても感動しました。最後にふさふさとした花中祭だったと思います。花中には学年を越えた絆があると、感動しました。
- 生徒の感想**
- ・花中祭は大成功でした。みんなとの協力の大事さを学び、学校生活に生かしていきたいです。

IV 基礎学力

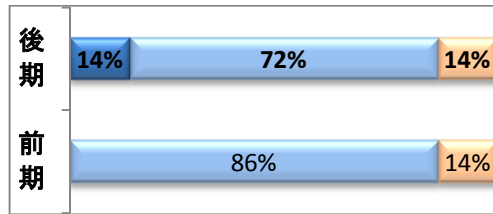
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身につけながら、学力を向上させようとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	教師サポートが上がっているのので、自信をもって指導にあたってください。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	各種調査を生かして、生徒に合わせた指導が行われており、学習習慣の定着も図られてきている。
学校の評価改善の概要と	【前期(→年度)】生徒が主体となる授業作りをめざし、研究を進めているところである。生徒は話型を活用しながら、自分の考えを話したりつなげたり出来るようになってきた。今後も「学習ルールの徹底」「生徒の活躍の場の設定」「言語活動の充実」などの授業改善に力を入れ、生徒がより自己有用感をもてるような授業作りをしたい。また、家庭学習の習慣化を図るため、生徒に必要感を持たせ自主的に取り組めるよう、学年・委員会活動で「クラスで〇時間を目指そう!」などの呼びかけや強調週間などを工夫させていきたい。		
	【年度(→次年度)】授業では話型を活用しながら生徒同士で意見をつなげ、伝え合いや話し合いが深められるようになった。また、教師がお互いの授業を見合う期間を設け授業改善を図ってきた。「課題とまとめがある授業」「自分たちで取り組む授業」「意見交換がある授業」「自分の考えを表現する授業」に関して良好なアンケート結果が出ている。しかし、特定の生徒の家庭学習の習慣化が図られておらず、指導に苦慮している。新聞やTVでニュースを読んだり見たりすることについては前期より数値が下がっており、毎日の学びが社会と結びついていることを実感させる指導が必要である。		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学習への取り組み	(14)基本的な学習習慣の定着	・学習ルール ・話型 ・家庭学習の習慣化	3	3
	(15)基礎的・基本的な内容の確実な定着	・教材教具の有効な活用 ・ドリル学習の有効な活用		
	(16)個に応じた指導の工夫	・効果的な個に応じた指導 ・家庭学習内容への助言		
	(17)読書活動の充実	・朝読書の充実 ・コラム学習 ・読書運動		
9 諸検査の状況	(18)NRT, 学習状況調査結果の向上	・結果の分析と補充・回復	3	3
10 授業改善の推進	(19)生徒主体の授業	・導入、終末の工夫 ・学びあい学習の工夫 ・言語活動の充実 ・研修会の実施	3	3
	(20)他校との連携による授業改善の推進	・花小、二中、矢中との連携と授業交流 ・自己有用感を高める活動		

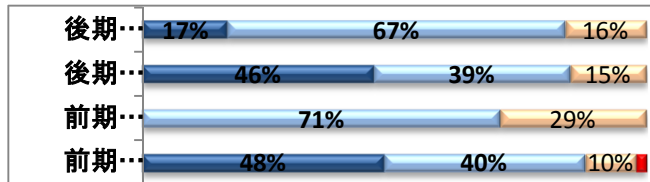
(14)に関するデータ 基本的な学習習慣の定着 家庭学習の習慣化



職員：生徒は話型を生かして意見や考えを表現することが出来た

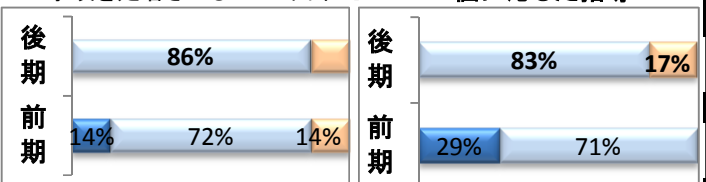


(15)に関するデータ 基礎的・基本的な学習定着 ドリル学習を通じた学習意欲の向上

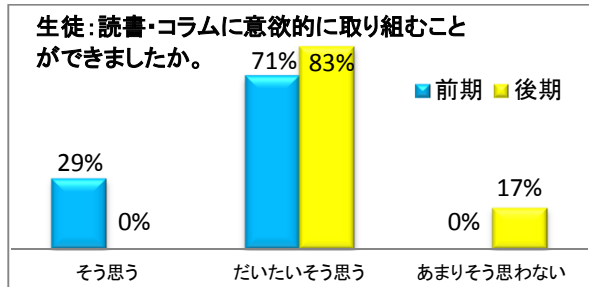


職員：授業で基礎的・基本的な事項を定着させることが出来た

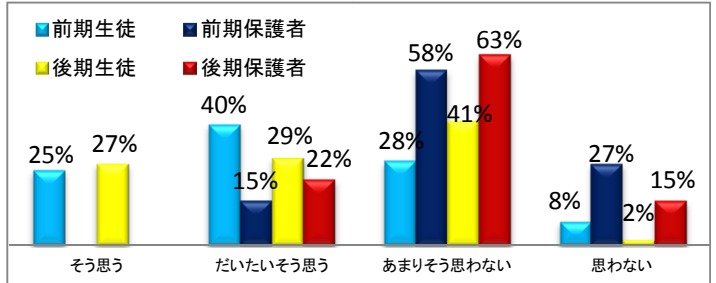
(16)に関するデータ 個に応じた指導



(17)に関するデータ 読書活動の充実



家で新聞のニュースを読んだり、TVのニュースを見ていますか。



(18)に関するデータ NRT, 学習状況調査結果の向上

職員：各種調査を分析し学習状況の把握して指導の工夫を図った

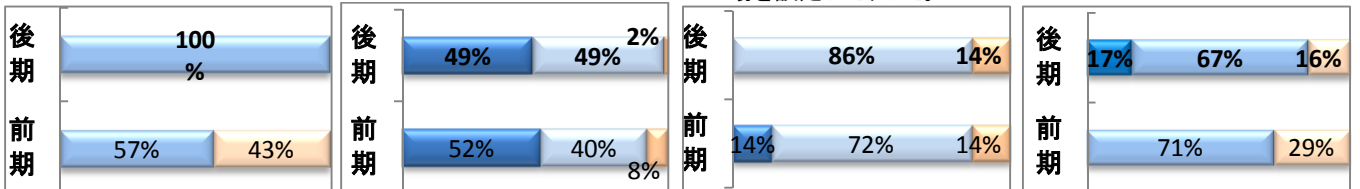
(19)に関するデータ 生徒主体の授業

生徒：授業の最後にめあてや課題に対して「できた・わかった」と思うことができましたか。

教員：生徒が意見や考え、思いを表現したり、学び合う場を設定したりした。

(20)に関するデータ

教員：授業で自己有用感を育んだ



V 安心・安全

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒への安全確保に取り組んでいて、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	おおむね良好	良好	このまま継続して頑張してほしい。
	年度	おおむね良好	良好	携帯電話やAEDの使い方について、良く啓発・研修されており、安全・安心への配慮が見られる。友人サポート(アセス)も向上しており、生徒の友人関係が向上してきている。先生方の頑張りが見られる。

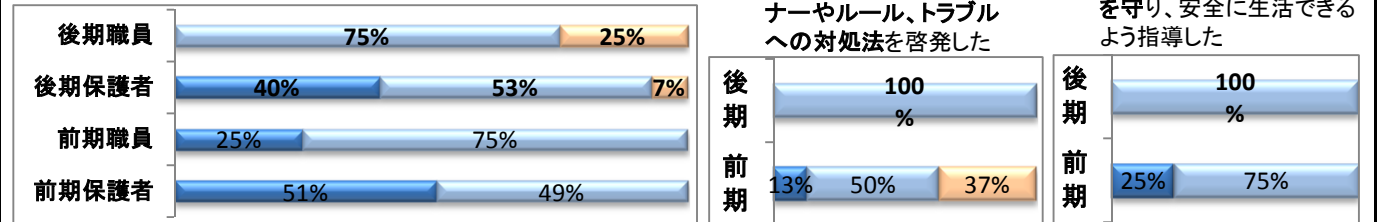
学自校己の改善の概要と

【前期(→年度)】5月には火災を想定した避難訓練を実施し、7月には電話不通時の連絡網や緊急時の帰宅方法を再確認した。あわせて町内毎に生徒と教員が集団で下校しながら、通学路の安全確認をおこなった。緊急連絡メールを適宜送信しているが、不具合があり改善した。不登校生徒には学級担任・学年だけでなく全職員で対応している。今後は人間関係を改善する施策をとり、よりよい集団づくりにつとめたい。

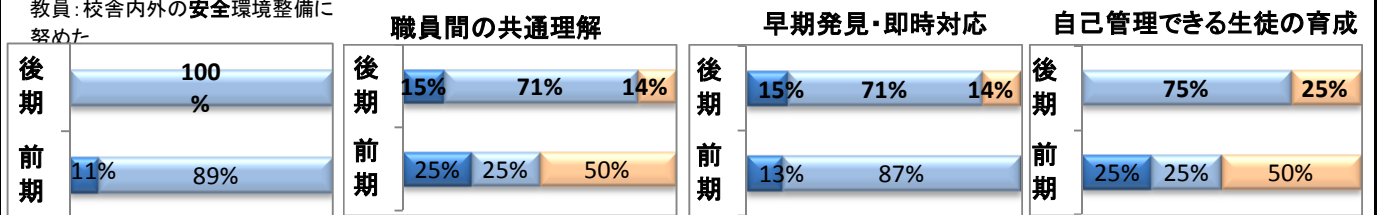
【年度(→次年度)】携帯電話利用のマナーについては資料を配付して啓発に努め、救急救命講座でAEDの使い方など全校で学ぶ機会をもった。しかし、冬季の避難訓練実施には課題が残った。生徒の人間関係は良好になりつつあることがアセスの結果からも見て取れる。また、生徒の様子からもそれが窺える。週二回の朝の打ち合わせで生徒の様子を共通理解し、不登校傾向がある生徒については組織で関わったり広域カウンセラーを活用したりして解決に導いてきた。1・2年生の心配な生徒へは可能な限り支援を続け、北陽中学校へ進級させたいと考えている。

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 安全教育と安全管理	(21)安全な登下校と継続的な防災訓練	・緊急時の下校場所の確認 ・避難訓練(火災、地震、不審者)	3	3
12 組織的な生徒指導	(22)不登校等の未然防止と適切な対応	・アセスの活用 ・鴻志ノート ・情報の共有	4	4

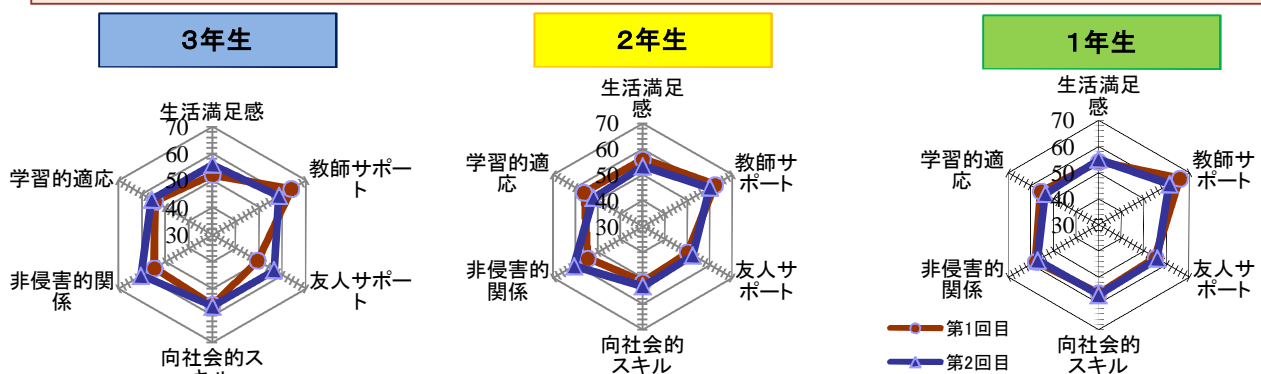
(21)に関するデータ 安全教育(避難訓練等の実施)



教員: 校舎内外の安全環境整備に努めた



アセス(学校環境適応尺度)の結果



教師サポートが減少し、友人サポートが大きくアップした(7ポイント)。3年生としての自覚と学級の団結力が生まれており、他の全ての項目において数値がアップしている。特に、非侵害的関係と生活満足感は4ポイントアップした。

教師サポートが減少し、友人サポート、向社会的スキルがアップしている。また、非侵害的関係が大きくアップしており、学級として良好な友達関係が育まれていることがわかる。学習的適応はやや低下している為、生活満足感もやや低下した。

教師サポートが減少し、友人サポートと向社会的スキルがアップしている。学級会で自分たちの課題を自分たちで解決させようとしてきた成果と考えられる。そのため生活満足感が向上している。学習的適応はやや低下している。

生活満足感 : 生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度を示す。**友人サポート** : 友人関係が良好だと感じている程度を示す。
教師サポート : 担任(教師)との関係が良好であると感じている程度を示す。
向社会的スキル : 友への援助や友との関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示す。
非侵害的関係 : 無視やいじわるなど拒否的・否定的な友達関係が無いと感じている程度を示す。
学習的適応 : 学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示す。

VI 保護者・地域との連携

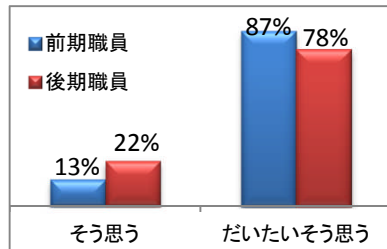
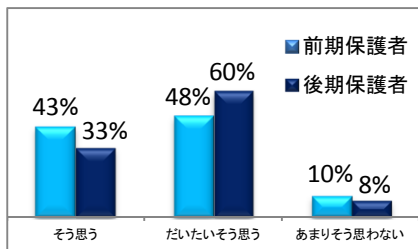
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを保護者や地域へ分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に活用している。	前期	良好	閉校に向けて学校全体で積極的な取り組みがなされている。
	年度	おおむね良好	地域の方々との連携が良く取れているので、良好な関係を保ってほしい。中には、もっと踏み込んだサポートを希望している保護者がいるようなので、統合校へも引き継いでほしい。
学 校 の 評 価 改 善 の 策 の 概 要 と	【前期(→年度)】各種のおたより発行やHP更新で、学級・学校の生徒の様子を詳しく発信してきた事を、保護者も好意的に受け止めている。今後はおたより等が確実に保護者に渡るよう指導していきたい。学校開放では、地域の方々にも参加していただいた運動会や多数の卒業生が訪れた夏休みなど、地域に開かれた学校となってきた。今後、学校祭の奉仕作業やバザー等の活動を保護者と協力し合い、閉校にむけた活動にも連携を図ってきたい。		
	【年度(→次年度)】情報の受発信に関して、発信内容の工夫をすることができたが、お便り等を家族に確実に渡すことが改善されていなかったため、自己評価が下がった。各行事の案内に対し、窓ふき作業に地域の方がたくさん駆けつけてくださったり、花中祭に多くの方が来校して楽しんでくださったりし、学校開放が進んだ。また、花岡地区産業文化祭や雪かきボランティア等の地域貢献活動を通じて、地域との連携はより良好な状況となってきた。		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 情報の受発信	(23)学校と地域・家庭をつなぐ情報発信	・学校報 ・学年だより ・部活動だより ・ホームページ更新	4	3
	(24)学校開放の推進	・みんなの登校日 ・各種行事の案内		
14 地域の教育力の活用	(25)地域人材と地域素材の活用	・地域の自然、伝統、文化、産業、人材等の活用	4	4
	(26)PTA相互の連携と協力体制	・挨拶運動 ・運動会や学校祭での連携 ・親子奉仕作業 ・PTA会報		

(23)に関するデータ 情報発信(学校報・おたより等の内容充実)

保護者:学校報や学年だよりによって、学校や生徒の様子がわかりますか。

職員:おたより等の内容を工夫し、学校の取り組みを分かりやすく伝えた。

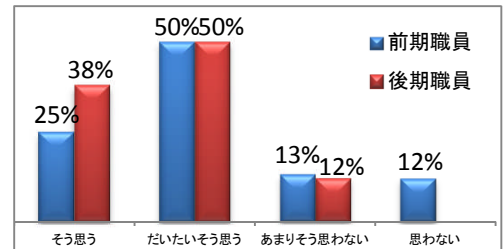


(25)に関するデータ

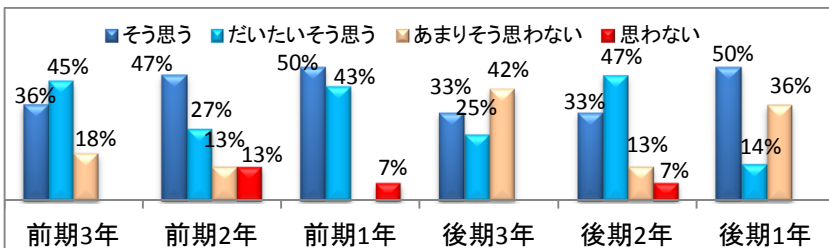
地域人材・地域素材を活用した体験活動

職員:地域を素材とした

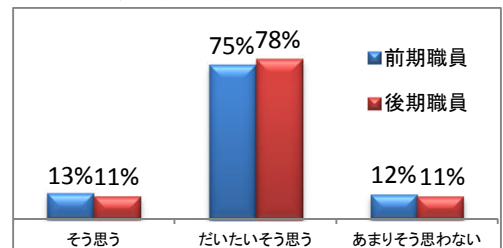
探究的な学習の工夫をした。



生徒:学校報や学年便り、保健便りを忘れず家の人に見せていますか



職員:地域の自然・伝統・人材等を活用し、学校と地域の交流を図った。

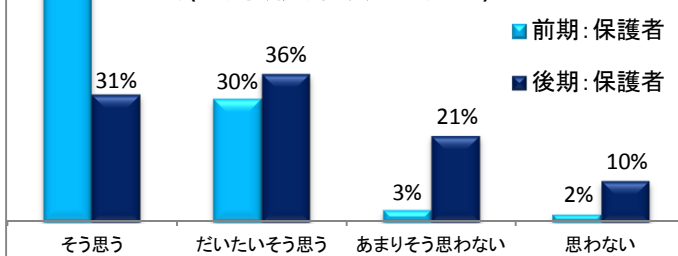


(24)に関するデータ 学校開放の推進

二学期は、保護者だけではなく地域の方にもお手伝いをしていただきながら、学校行事を進めることができた。窓ふきボランティアには予想を上回る30名の地域の方が、最後の花中祭には100名を越える方々が、学校に足を運んでくださった。

(26)に関するデータ PTA相互の連携

保護者の方は、学校で行われるPTA活動に参加できましたか。(花中祭、授業参観、合同研修会)



窓ふきボランティア



花中祭



産業文化祭



PTA合同研修会

